

令和5年度第5回南三陸町総合計画審議会 会議録

- 1 日 時：令和5年11月21日（火）午後1時45分から午後2時20分
- 2 場 所：南三陸町役場2階会議室
- 3 出席委員：7名
山内正文会長、高橋長晴副会長、阿部國博委員、行場博文委員、沼倉善子委員、
星岳大委員、山内健一委員（氏名カナ順）
- 4 欠席委員：5名
阿部隆委員、阿部和夫委員、伊藤和長委員、及川吉則委員、久保田正男委員
（氏名カナ順）
- 5 事務局：企画課 課長 岩淵武久
企画課 課長補佐兼政策調整係長 阿部好伸
企画課 佐藤悠
ランドブレイン株式会社仙台事務所 姜守範（オブザーバー）
- 6 会議次第
 - 1 開 会
 - 2 挨拶 山内会長
 - 3 議 事
 - （1） 南三陸町第3次総合計画（素案）に対するパブリックコメント（意見公募手続）の結果等について
 - （2） パブリックコメントに対する回答概要（基本的な考え方）について
 - （3） まちの将来像について（専門委員会議での審議結果等）
 - 4 その他
 - 5 閉 会

午後1時45分開会

（事務局）

定刻となりましたので、ただ今から令和5年度第5回南三陸町総合計画審議会を開会いたします。
本日の会議ですが、町の総合計画策定支援業務を受託しておりますランドブレイン株式会社仙台事務所の姜チーム長補佐がオブザーバーとして同席しておりますので、委員皆様にご報告いたします。開会に先立ちまして、山内会長からご挨拶をお願いいたします。

山内会長挨拶

（事務局）

会長、ありがとうございました。

ここからは、南三陸町総合計画審議会条例第6条第1項の規定により、山内会長に議事進行をお願いいたします。山内会長、よろしくお願いいたします。

（山内会長）

それでは、規定により、議長を務めさせていただきます。

本日の出席委員が7名であり、過半数に達しておりますので、南三陸町総合計画審議会条例第6条第2項の規定により、本会議が成立しますことを報告します。

早速、議事に移ります。(1) 南三陸町第3次総合計画(素案)に対するパブリックコメント(意見公募手続)の結果等について、事務局に説明を求めます。

(事務局)

早速ですが、「資料1」をご覧ください。意見公募を10月10日から11月8日までの期間で行いました。周知方法としては、広報南さんりく10月号、町ホームページ、企画課と歌津総合支所窓口に素案を設置いたしました。結果として、11の個人団体から23件の意見が提出されました。なお、提出された意見等の取扱いについては、総合計画審議会及び総合計画審議会専門委員会議での審議等を踏まえ、町のホームページで公表することとしております。その他として、パブリックコメントでの意見等を踏まえ、12月中に第8回専門委員会議を開催し、意見等の回答作成及び素案の再検討を行い、その審議結果について、改めて当審議会にお諮りする予定としております。

(議長)

事務局より、資料に基づく説明が終わりました。

委員の皆様方から質問はございませんか。

質問なし

(議長)

それでは、(2) パブリックコメントに対する回答概要(基本的な考え方)について、事務局に説明を求めます。

(事務局)

皆様に配布をしているA3版の「資料2」をご覧ください。こちらは、パブリックコメントの意見の一覧の中で将来像に関係する部分を除いたものを記載しております。表の見方としては、一番左の箇所が素案に該当するページ、その右隣が意見内容、さらにその隣が意見内容に対する理由、右から2番目の箇所は、事務局が作成した回答概要になります。なお、一番右の欄については、回答概要に対する専門委員会議での意見となります。

事務局より説明

(議長)

事務局より、資料に基づく説明が終わりました。

委員の皆様方から質問はございませんか。

今回、この資料をいただいて、私が読んだ感想としては、専門委員の皆様方は真剣に取り組んでいらっしやうと感じた。

(阿部國博委員)

今回、意見に対する回答概要を読ませてもらったが、総合計画の下に紐づいてくる計画の話題にも触れられている意見があると感じた。それらの計画に対する具体的な回答を行うことはあまりよ

ろしくないと感じているが、そのような回答はないので安心した。ここまでの回答概要を作成するのはかなり労力を使ったのではないのかと考えると、感心する。

(議長)

それでは、パブリックコメントに対する回答概要については、事務局から提示のあった内容で進めたいと思います。

次に、町の将来像について、事務局に説明を求めます。

(事務局)

資料については、皆様に配布をしておりますA3版の「資料3」をご覧ください。こちらは、パブリックコメントで意見をいただいた中で、将来像に関する部分のみを抜粋したものになります。

併せて「資料4」もご覧ください。こちらは、前回の専門委員会議で委員の方々に将来像について寄せられた意見を集約したものになります。

事務局より説明

(事務局)

前回の専門委員会議の方向性としては、現行の将来像が踏襲された場合、これまでの専門委員会議で議論をしてきた「ひとの大切さ」といった部分を将来像の説明文章等に明確に盛り込む必要があるのではないかと、事務局として受け止めました。そういった点を踏まえまして、総合計画審議会の委員の皆様からも、将来像に対するご意見をいただきたいと考えております。

(議長)

事務局からの説明が終わりました。

今の点に関して、委員の皆様ひとりひとりから意見をいただきたいと思います。

(高橋長晴委員)

「森里海ひと」という順番で良いのではないかと感じているが、これまで専門委員の方が議論を重ねてきた意見も尊重したい。

(阿部國博委員)

「ひと」が前に来ても後ろに来ても本質は変わらないのではないかと。先日、別の会議があり、農業は自然を相手にする仕事であるとの話題で盛り上がったが、最終的には、何をするにも「ひと」が大切であるとの結論に至った。

実際にこの町は、他の町村から移住してきている人もいるのは事実。「ひと」を前に持ってきたことに対しては、個人的には賛成である。

(行場博文委員)

正直に話せば、どちらになっても問題ないと思っている。ただ、「ひと」が一番大事であるという考え方の中で、森にしても里にしても海にしてもすべて横並びの関係になるのではないだろうか。「ひと」を先に持ってきた方が、森にも里にも海にもいのちがあるという感じで読めるのではないだろうか。

(山内健一委員)

皆さんの意見と同じである。「ひと」がいてそれに付随する形で、「森」「里」「海」が形成されていくのではないかと。正直なところは、どちらになっても問題はないと思っている。

(星岳大委員)

専門委員の方々の協議を踏まえて、是非とも「ひと」を前にすべきと考える。今後10年間このフレーズが定着していけるようにしていきたい。

(沼倉善子委員)

これまで、意見を述べてきた委員の方々と同じ。どちらにしても、意味合いは同じであると思う。

(議長)

委員の皆様の見解では、「ひと」が最初に来て後に来て、意味合いは同じ、問題はないという意見が多いように感じた。何事も、時間をかけて皆で議論するという事は大切なことだと思う。

本日は、委員があまり揃わなかったが、欠席された方々どう考えているのかも気になる。

本日の議事は、全て終了となります。皆様、円滑な議事進行にご協力いただきありがとうございました。司会を事務局にお返しいたします。

(事務局)

山内会長、議事進行、大変ありがとうございました。

将来像に対する意見の回答内容について、まちづくりの評価が誤って認識されないように、誤解のないような回答を作成していきたいと思っております。

委員の皆様から質問等はございませんでしょうか。

それでは、以上を持ちまして、令和5年度第5回南三陸町総合計画審議会を終了いたします。

皆様、大変お疲れ様でした。

午後2時20分終了